令和８年度

身延町 こども議会だより

令和８年８月５日（水）開催



町長・教育長と記念撮影


記念品贈呈


防災無線の説明


企画政策課の役割説明


産業課の役割説明



















自己紹介



こども議員任命書授与



身延町こども議会任命式


リハーサル


町長と記念撮影


町長室で町長と対面

こども議会だより
〒409-3392 山梨県南巨摩郡身延町切石 350　TEL 0556-42-2111（代表）
URL：http://www.town.minobu.lg.jp/　FAX 0556-42-2127
□発行日：令和８年９月30日
□発行責任者：議長 伊藤達美

QRコードからこども議員の一般質問を観てね！

５名のこども議員が町政を素直に問う

通告１番
おさだ　いちか
長田 一花 議員
身延小５年





身延町のポイ捨てについて

家族で家の周りを掃除したときにたくさんのゴミがあって驚いたことや、「ナイス！」と声をかけ合いながら走るプロギングに参加して楽しかった経験から、町のみんなで楽しくゴミ拾いをしたいです。ゲームみたいにゴミの量で順位を決めたりメダルをあげたりすれば、みんな楽しく参加できると思います。自分たちの手で町をきれいにして、身延町をもっと自慢できる素敵な場所にしていきたいです。

身延町ではポイ捨てを防ぐため、団体と協力した「身延山」や「本栖湖」でのゴミ拾い、6月の「町内一斉環境美化活動」などを実施しています。ゲーム感覚で楽しむゴミ拾いのアイデアは大変素晴らしく、今後の参考にさせていただきます。町としては、一人ひとりがどこにいても「ゴミを捨てない・落ちていたら拾う」という意識を持つことが大切だと考えており、みんなで町を綺麗にして心地よく暮らせる身延町を目指していきます。

【笠井健一　環境課長】

通告２番
もちづき　せいしゅん
望月 晴駿 議員
下山小４年



あけぼの大豆を使った新商品の開発について

学校の給食でアイデアを出し合って作ったあけぼの大豆のメニューが実際に給食に出て、とても嬉しくてワクワクしました。この経験から、毎年小中学生からあけぼの大豆を使った新商品のアイデアを募集するコンテストを開いてほしいです。選ばれたアイデアを町のお店の人と一緒に商品にして道の駅などで売れば、「こどもが考えた商品」として話題になり、たくさんの人に身延町とあけぼの大豆の魅力を知ってもらえると思いますがいかがでしょうか。

町では、あけぼの大豆の生産から製造・販売まで一体となって進める「6次産業化」に取り組んでいます。これまでも管理栄養士を中心にクックパッドへ45品のレシピを掲載したり、児童の発案を給食メニューとして実現したりしてきました。今回いただいた小中学生からの新商品アイデア募集（コンテスト）の提案については、産業課が事務局を務める「あけぼの大豆振興協議会」を中心に検討を進めます。「あけぼの大豆サブレやパイ」などお土産に特化した商品も含め、広報活動の一環として実施できるよう前向きに検討していきます。　【若狭秀樹　産業課長】

通告３番
ちすわ　かいと
千須和 海音 議員
下山小２年





スケボーパークを身延町に設置することについて

わたしは大好きなサーフィンの練習や友達と楽しく遊ぶために、身延町にスケートボードやBMXで走れるパークがあったらいいなと思っています。使われていない畑やグラウンドの跡地につくれば、道路も見やすくなって危険も減り、害獣も寄ってこなくなります。ぼくたちが元気に運動する姿をお年寄りに見てもらい、みんなで応援し合える元気いっぱいの身延町にしたいです。

スケートボードはオリンピックでの日本人選手の活躍もあり人気のスポーツですが、練習場所の問題から専用のパークが増えています。提案のあった跡地や休耕地の活用は素晴らしいアイデアですが、広い土地と多くの費用がかかるため、身延町に新しくつくることは現時点では難しい状況です。ただ、隣の富士川町（富士川いきいきスポーツ公園）に新しいスケートボードパークがオープンし、事前申し込みをすれば無料で利用できます。友達と遊びたい、お年寄りを元気にしたいという強い思いを受け止め、みんなが元気に過ごせる町づくりを町としても考えていきます。含め、広報活動の一環として実施できるよう前向きに検討していきます。

【石部直樹　生涯学習課長】

通告４番
ぬまざわ　よしなり
沼澤 芳成 議員
身延中２年



町内のスポーツ施設をもっと充実させてほしい

いまの身延町にはスポーツの種類が少なくて大会で勝つのが難しいので、小中学生にやりたいスポーツや欲しい施設のアンケートをとって、みんなの希望をあわせた新しい施設をつくってほしいです。そうすれば僕たちのレベルも上がるし、町外の人も遊びに来て一緒に楽しくスポーツができるようになります。身延町をみんなに知ってもらい、そしてこうした施設が出来れば、身延町がもっともっと賑やかになると思います。

人口減少に伴いスポーツ少年団や部活動の維持、レベル向上が難しい面もありますが、現在町内ではスポーツ少年団７競技８団体が活動しているほか、中学校の各部活動や学外クラブで関東・全国大会に出場するなど多くの選手が活躍しています。子どもたちの希望を取り入れたスポーツ施設の整備は大変夢のある計画であり、こどもから高齢者までがスポーツを楽しめる施設づくりについて町としても前向きに検討していきます。現在の施設も有効に活用しながらスポーツに取り組んでいただくことを期待し、今回の提案は今後のスポーツ振興の参考とさせていただきます。　【石部直樹　生涯学習課長】



通告５番
さの　こはる
佐野 心春 議員
身延清稜小２年





町内３小学校の交流する機会をつくることについて

身延清稜小学校は同級生が３人しかいないので、中学校に入る前にもっと交流する機会をつくってほしいです。遠足や町探検、運動会などを一緒に行えば、子どもみんなが嬉しくて楽しくなり、町全体の団結力ややる気も大きくなると思います。人数が少なくても交流を増やすことで、これからの身延町がもっと元気で魅力的な町になると思います。

他の学校のお友達と仲良くなり、一緒に学んだり遊んだりすることはとても大切なことです。身延町では、夏休みの「プログラミング教室」や、英語を楽しむ「イングリッシュ・デイ・キャンプ」、富士山へ行く「体験！こども教室」、そして６年生の「修学旅行」など、学校の枠を超えて交流できる機会を用意しています。１年生から参加できる工作教室などもありますが、学年が上がるにつれて交流の機会はもっと増えていきます。ぜひ参加して友達の輪を広げてください。これからも子どもたちが仲良くなれる機会を増やせるよう、学校と相談しながら考えていきます。

【望月俊也　学校教育課長】

議長
たけうち　ゆうた
竹内 雄太 議員
身延中２年



こども議長としての素晴らしい大役、本当にお疲れ様でした。議場という特有の緊張感漂う空間でありながら、議長席に座る姿は誠に堂々としたものでした。こども議員たちが身延町の未来を想い、身近な課題や夢のある提案を真っ直ぐにぶつける一般質問。そして、それに対し町の担当課長たちが真剣な面持ちで分かりやすく答弁する姿。議長はそれらのやり取り一つひとつにしっかりと耳を傾けながら、見事な手際と落ち着きで議会を進行しておられました。　【教育厚生常任委員会】

※議長のため、質問を行いません